

内部仕様書

テストプログラム (test_V2/output_data.c)

安場裕人

平成 29 年 12 月 6 日

1 概要

この仕様書は test_V2/output_data.c の内部設計を記載する。output_data.c は test_V2 の main ルーチンのサブルーチン 3 に相当する。機能としては、構造体 DATA 配列内のデータを表の形で出力する。一般的な情報を以下に示す。

- 名称 : output_data.c
- 作成者 : 安場 裕人
- 引数 1 : DATA * data (出力するデータ)
- 引数 2 : int count (構造体 DATA 配列内に存在するデータの数)
- 返値 : なし

出力形式を以下に示す。

```
page|first      |second      |third|
-----
1|  string11|  string12| int1|
-----
2|  string21|  string22| int2|
-----
...
-----
data end
```

ここで、string**は文字列を示す。また int*は整数を示す。例を以下に示す。

```
page|first      |second      |third|
-----
1|      jack| mathematic|  97|
-----
2|      pole|  scientific|  83|
-----
...
-----
data end
```

構造体 DATA は parameter.h 内で宣言されている。また、表示する数は parameter.h 内で宣言されている MAX_DATA の値を上限とし、それを超えた場合は MAX_DATA の数だけを表示する。

図 1 に output_data.c のフローチャートを示す。

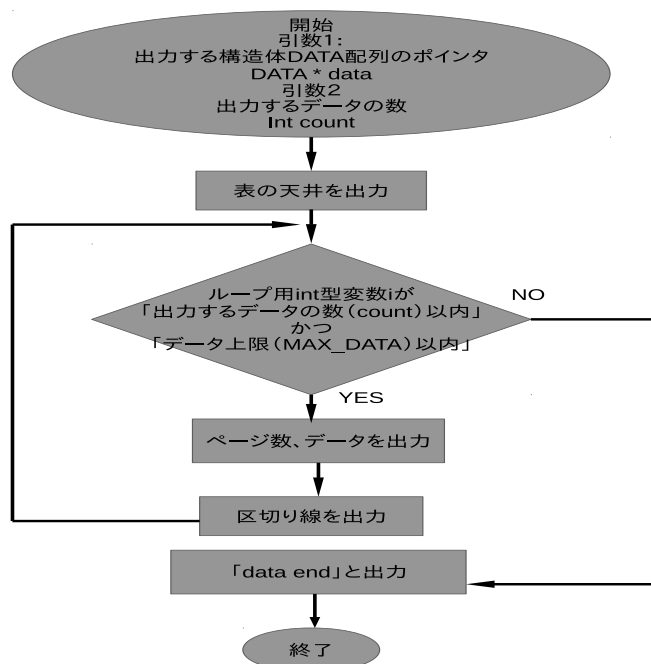


図 1: output_data.c のフローチャート